

# 注意事項

写真撮影、録音、携帯電話等のご使用は、  
ご遠慮いただきますようお願い申し上げます。  
なお、スマートフォン・タブレットをご使用の際は、音のでない  
設定でご使用いただきますよう、ようお願い申し上げます。



# 第68回 定時株主総会

2026年6月26日

株式会社J-MAX

<b>1.報告事項</b>	■ 監査報告	
	■ 事業報告及び計算書類の報告	
<b>2.決議事項</b>	第1号議案	剰余金の処分の件
	第2号議案	定款の一部変更の件
	第3号議案	取締役（監査等委員である取締役を除く）4名の選任の件

# 議決権数報告

## 株主数及び議決権数（2026年3月31日現在）

- 議決権を有する株主数 2,155名
- 議決権数 117,608個

# 監査報告

招集ご通知交付書面43～44ページをご覧ください

- 連結及びセグメント業績
- 設備投資の状況
- 連結計算書類
- 対処すべき課題
- 第69期 業績予想

招集ご通知交付書面13～38ページをご覧ください

[AIの自動音声でお伝えします](#)

## 世界経済

インフレ率鈍化、金融引き締め影響徐々に緩和  
貿易環境の不透明感、為替円安基調

米国 個人消費、設備投資は底堅く推移

中国 不動産市場低迷、個人消費伸び悩み

緩やかな回復

## 日本経済

物価上昇の継続・為替相場の変動

雇用・所得環境の改善

政府による物価高対策

個人消費緩やかな持ち直し

回復基調

## 自動車業界

### 日本

国内需要伸び悩み

買替サイクル長期化

### タイ

家計債務影響

中資系OEMの躍進による日系OEM減少傾向

生産横ばい

減少傾向

### 中国

新エネルギー車の規模世界一維持

従来型内燃機関車の販売伸び悩み

日系OEMは市場構造の変化と価格競争への  
追従を余儀なくされる

好調維持

# 連結業績

7/34

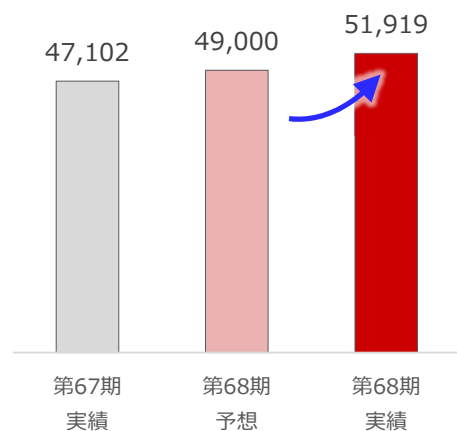
(単位：百万円)

## 売上高

**51,919** 百万円

前期比 **+10.2%**

予想比 **+6.0%**

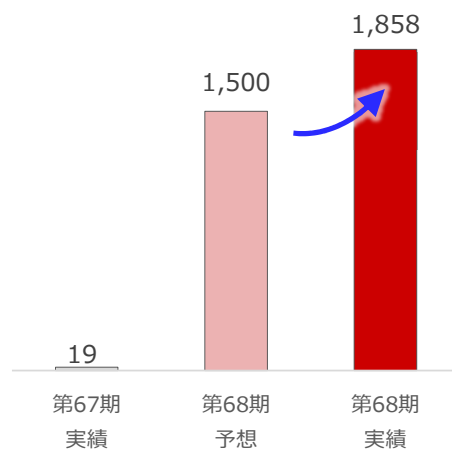


## 営業利益

**1,858** 百万円

前期比 **+9,632.5%**

予想比 **+23.9%**

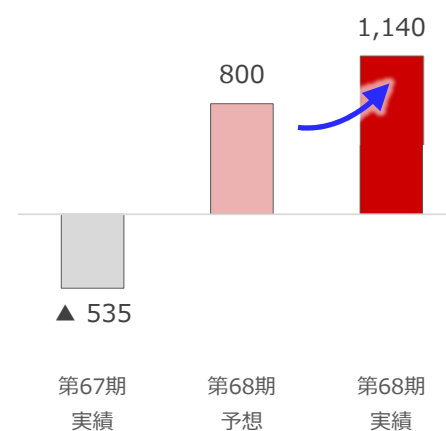


## 経常利益

**1,140** 百万円

前期比 **+1,676**百万円

予想比 **+42.6%**

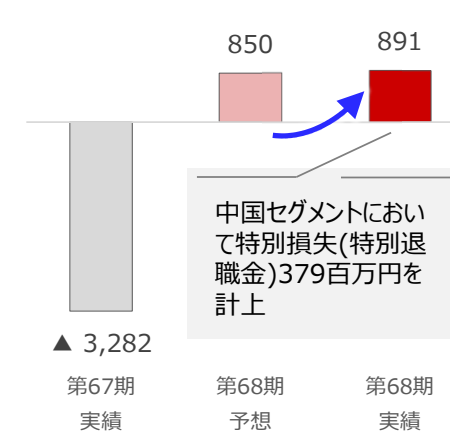


## 親会社株主に帰属する 当期純利益

**891** 百万円

前期比 **+4,173**百万円

予想比 **+4.8%**



※前期比・予想比は、当期・前期・予想のうち、該当する数値の両方がプラスの場合は増減率、  
当期・前期・予想のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。

# セグメント業績（日本）

8/34

## 売上高

**19,419** 百万円

前期比 **+0.1%**

## 営業利益

**353** 百万円

前期比 **▲25.2%**

## 経常利益

**600** 百万円

前期比 **▲20.4%**

一部の機種を除き、主要客先向け自動車部品の生産は減少するものの、**新機種立上げに伴う金型設備等の販売が増加したことにより、売上高は前年同期と同水準。**

**岡山工場稼働に伴う一時的な変動費の増加等により営業利益、経常利益ともに減少。**



岡山工場

※前期比・予想比は、当期・前期・予想のうち、該当する数値の両方がプラスの場合は増減率、当期・前期・予想のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。

# セグメント業績 (タイ)

9/34

## 売上高

**5,965** 百万円

前期比 **▲3.1%**

## 営業利益

**180** 百万円

前期比 **+237.1%**

## 経常利益

**75** 百万円

前期比 **+168百万円**

主要客先向け**自動車部品**の生産が国内及び輸出向けともに減少したことにより**売上高は減少**。

前期までに実施した要員適正化及び金型事業縮小等の**構造改革の継続効果**に加え、**エネルギー価格高騰による製品売価の増加等**により、**営業利益、経常利益**ともに増加。



タイ・マルジュン社

※前期比・予想比は、当期・前期・予想のうち、該当する数値の両方がプラスの場合は増減率、当期・前期・予想のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。

# セグメント業績（中国）

10/34

## 売上高

**26,911** 百万円

前期比 **+22.3%**

## 営業利益

**1,229** 百万円

前期比 **+1,783百万円**

※営業利益は広州、武漢、福建の単純合計

## 経常利益

**724** 百万円

前期比 **+1,619百万円**

主要客先である日系OEMの減産が依然として継続する中、**車載電池メーカー向け電動化部品が大幅に増産し、売上高は増加。**

増産影響に加え、前期までに実施した**要員適正化及び固定資産の売却等の構造改革の継続効果**により、**営業利益、経常利益ともに増加。**



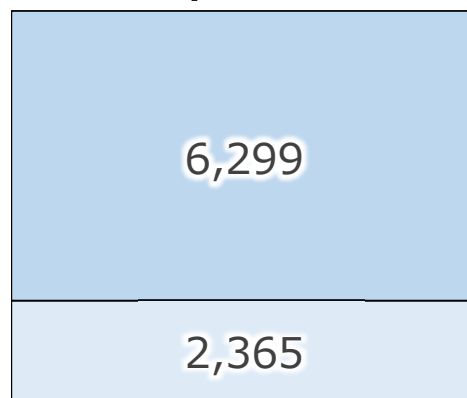
福建丸順社

※前期比・予想比は、当期・前期・予想のうち、該当する数値の両方がプラスの場合は増減率、当期・前期・予想のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。

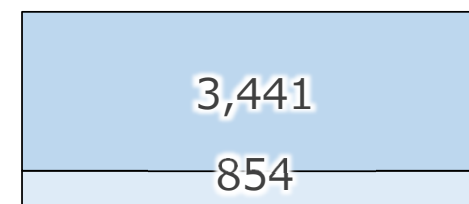
# 設備投資の状況

(単位：百万円)

設備投資合計  
**8,664**



設備投資合計  
**4,296**



■ 汎用投資  
■ 専用投資

		第67期		第68期	
主な投資	日本	汎用投資	・岡山工場関連	汎用投資	・岡山工場関連
	中国	汎用投資	・広州HTライン ・福建工場関連	汎用投資	・武漢溶接ライン ・福建工場関連
	全拠点共通	専用投資	・新型車種金型	専用投資	・新型車種金型

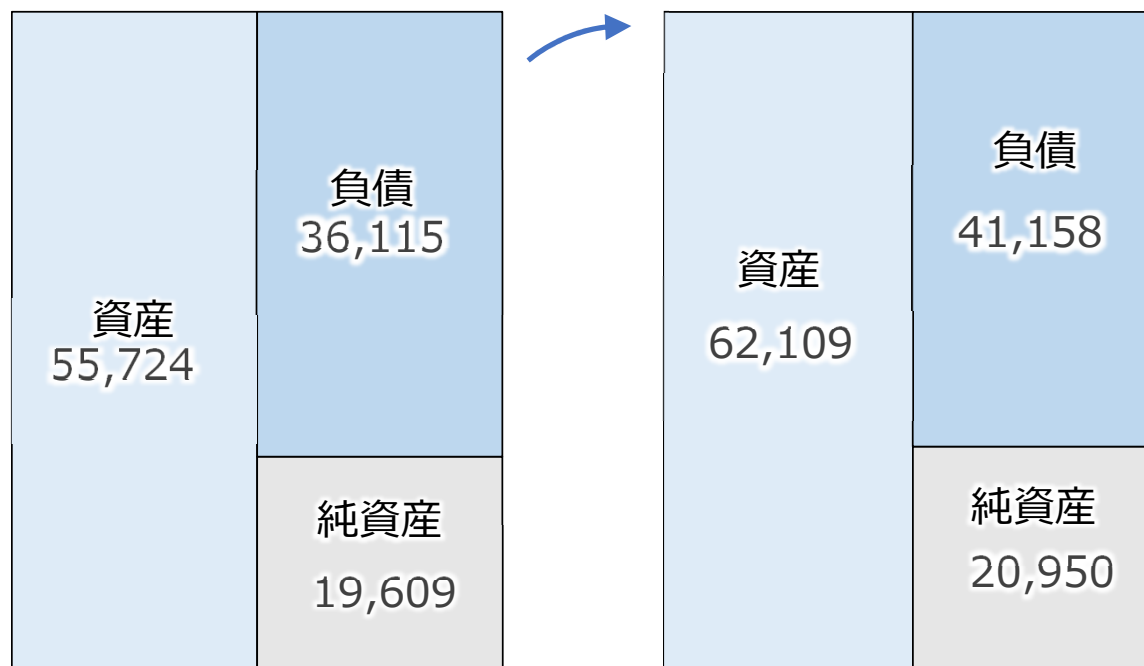
# 連結貸借対照表

12/34

(単位：百万円)

J-MAX岡山工場及び  
広州福建工場立ち上げ等の  
**成長投資**により  
**有利子負債増加**

自己資本比率については、  
有利子負債の増加により  
低下傾向にあり、**改善が急務**



	第67期	第68期	
有利子負債	25,078	25,374	増加
現預金	6,565	7,322	
自己資本比率	32.2%	30.8%	低下

# 対処すべき課題

- 中長期5か年計画「J-VISION 30」

2023年5月9日に中長期経営計画を公表。しかしながら、外部環境に大きな変化があったため  
2024年5月10日に**中長期経営計画の見直し**を公表。

## 中長期経営計画 -ビジョン・基本戦略-

# 「J-VISION 30」

①2030年に向けて ②30年後の100年企業に向けて  
「**既存事業の強化**」と「**新事業の創出**」を戦略の2本柱とし、  
第66期～第70期中長期計画を「**J-VISION 30**」とする

### ビジョン

## 技術で夢を

### -Make our dreams by Technology-

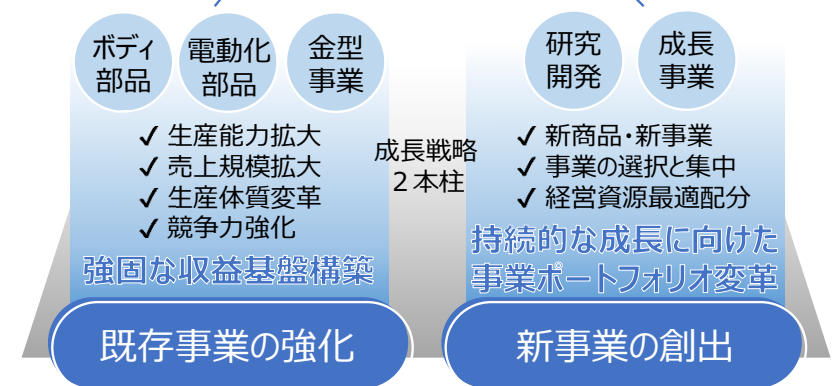
持続可能な100年企業を目指し、既存事業の技術を磨くと共に、  
新しい事業への探索と挑戦で企業価値を高め、  
従業員をはじめとするステークホルダーと夢を共有する。

【中長期方針】 資源配分の最適化により、強固な経営基盤への変革

### 基本戦略

1. ブランド力強化と新規顧客開拓による売上の拡大
2. 新事業確立に向けた新商品の開発
3. デジタルを駆使しプロセスを変革させコア技術を進化
4. 次世代工場の構築と新しいモノづくりへのチャレンジ
5. DXの展開加速で経営構造の変革
6. 持続的な成長に向けた事業ポートフォリオの変革
7. サステナビリティ経営による企業価値の向上

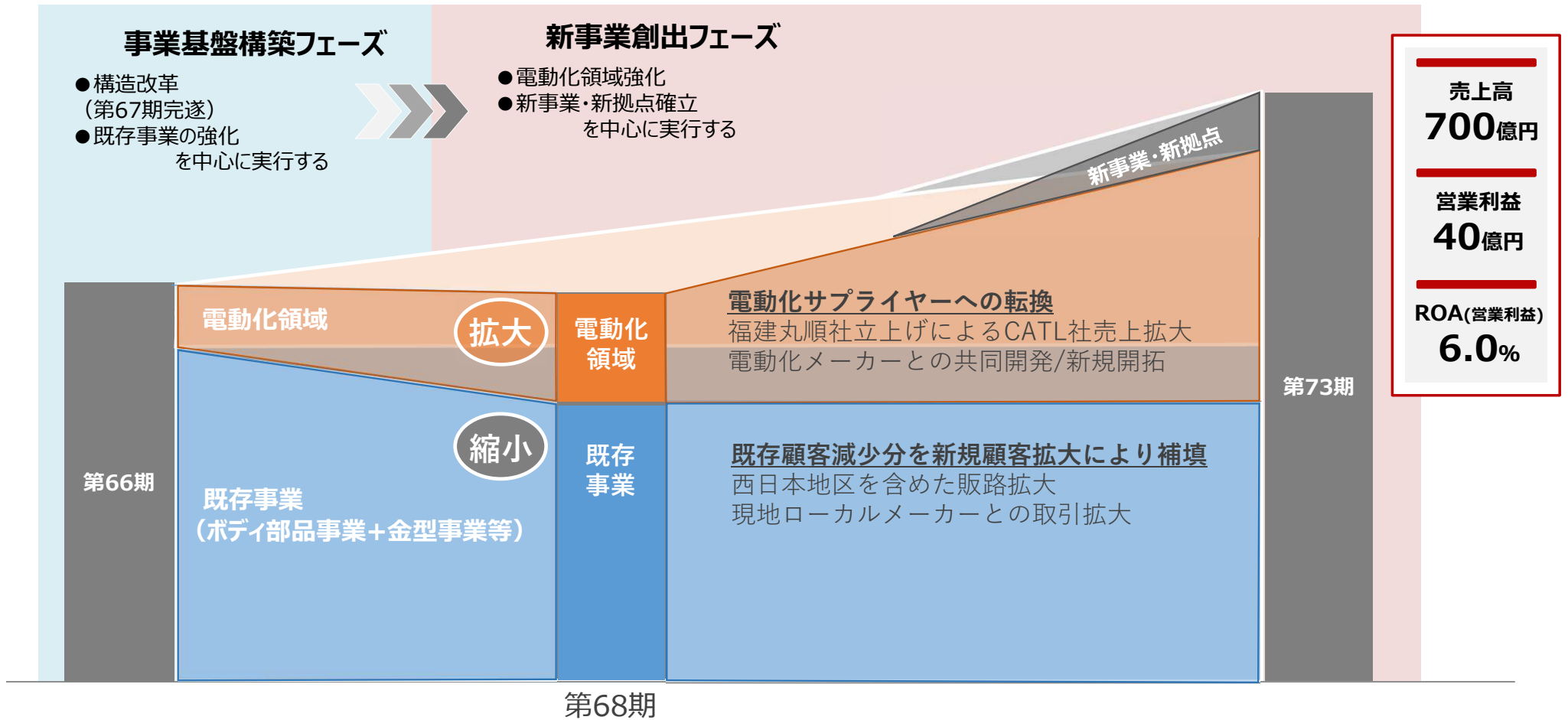
## 企業成長



ビジョン・基本戦略は**変更なし**  
注力テーマを明確化

- ◆ **電動化・軽量化に集中した  
電動化サプライヤーへの転換**
- ◆ **事業構造改革推進による  
持続可能な企業体質の構築**

# 中長期経営計画の目標値に対する進捗状況



# 電動化サプライヤーに向けた取り組み

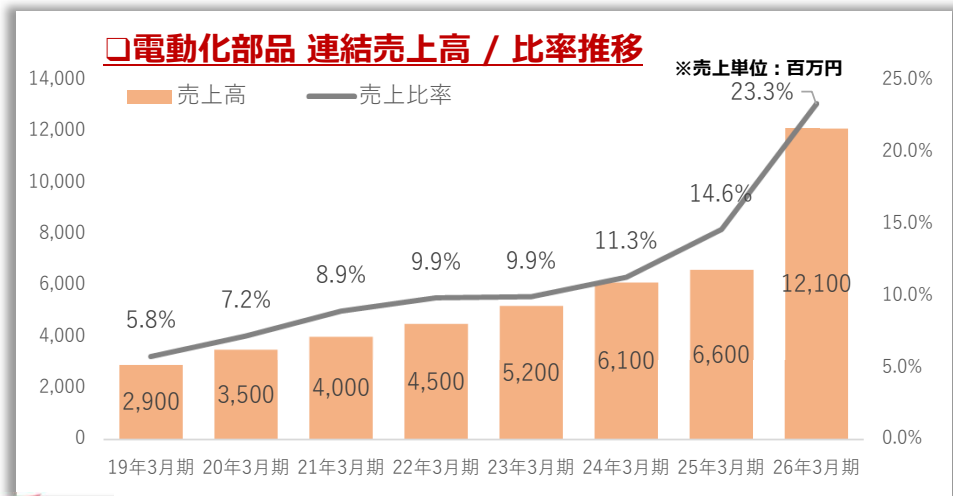
## ◆GSユアサ向け LEV65バッテリー拘束体(日本) 超ハイテン成形技術を生かし拘束体を継続受注

リチウムイオン電池 (LEV65) イメージ図  
高出力・高耐久を実現する車載用リチウムイオン電池

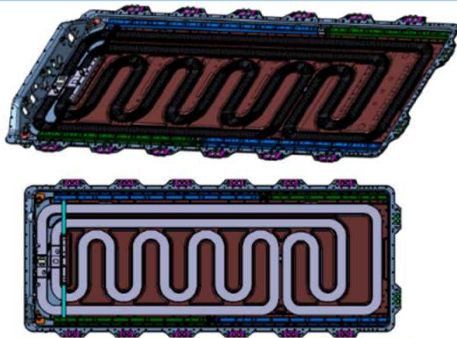


※GSユアサ HPより引用

日本ではGSユアサに対し度重なる試作品供給を経て、**バッテリー拘束体**の新規受注が決定した。本部品はロボットによる**無人溶接ライン**に加え自社開発の**AIシステム(打点欠損検出)**による品質保証を採用する等、最先端の生産ラインにて量産を行っている。



## ◆CATL向け CE04 バッテリーケース(中国) 付加価値の高い電動化部品の受注が拡大



中国では今期より稼働開始した**福建丸順社(F-MAX)**を中心に**電動化部品の受注が拡大**。直近では**CE04 バッテリーケース**を始め、CATL向けに14機種が今期量産開始。中国で深刻化する日系OEMの売上減を補填すべく、この電動化部品は今後グローバルでの主力部品として注力していく。

### 車載電池全方位網(自社開発/共同開発)

拘束体(電池の膨張を抑える)

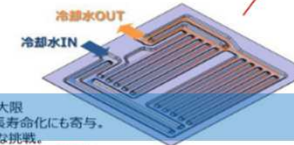
バッテリーケース(構成部品)

バッテリーの衝突保護及び膨張を抑えることによる長寿命化に寄与する部材。高い強度が求められ、ハイテン成形技術が求められる。国内の電動車にはほぼ100%搭載。

バッテリーモジュールを収納しバックとするためのケース。衝突時のバッテリー保護、及び絶縁の機能を有する。EV車向けには1,900mmを超えるサイズとなる。国内外問わずほとんどの電動車に搭載。

冷却装置(電池の熱を制御する)

モーターコア部品



バッテリーの発熱を抑え最大限性能を発揮させる装置。長寿命化にも寄与。アルミ材が主流であり新たな挑戦。国内外問わず多くの電動車に搭載。

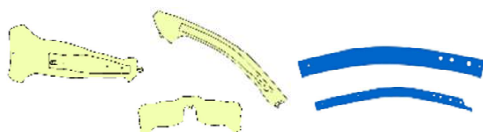
モーターを構成する部品。国内外問わずほとんどの電動車に搭載。

# 客先構成のバランス最適化

## ◆トヨタ向け ボディ骨格部品(日本/中国) 各社OEMより他機種にわたり部品受注が決定

### □取引先別受注部品ラインナップ<sup>o</sup> (直近事例)

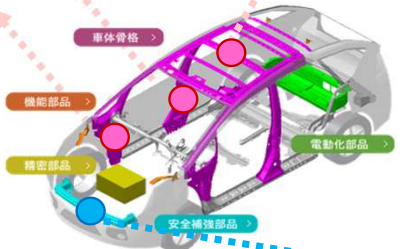
GESTAMP ※ブランク加工部品  
(bZ4X, LEXUS ES他) **日本**



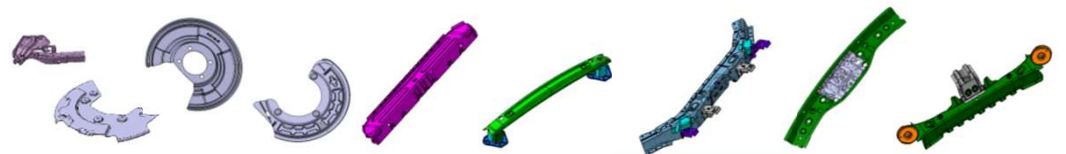
アイシン ※サンルーフ部品  
(bZ4X, RAV4, LEXUS ES他) **日本**



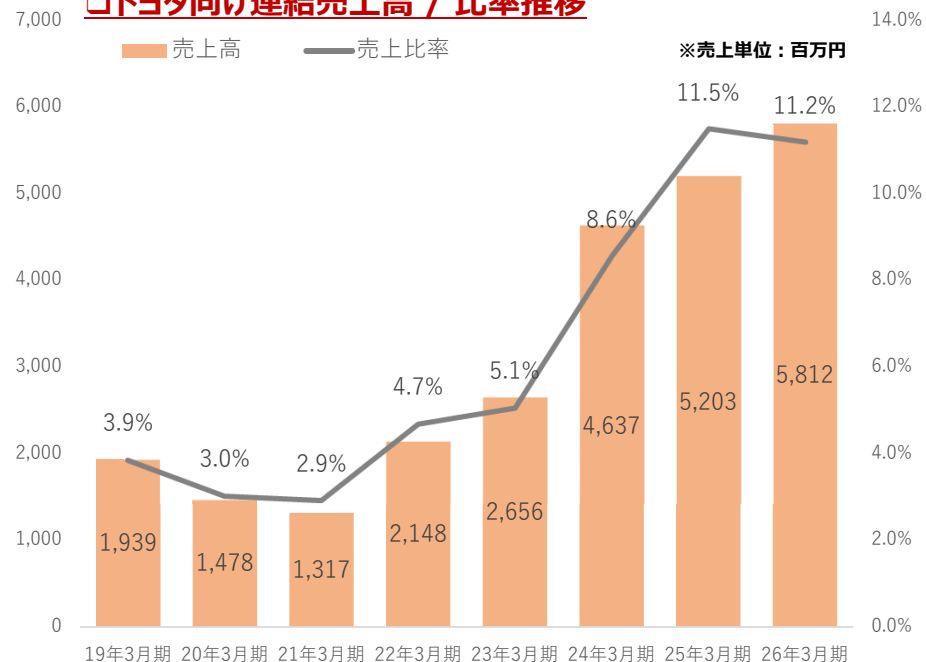
フタバ産業 ※ボディ骨格部品他  
(4RUNNER, RAV4) **日本**



GTMC(广汽トヨタ) ※ボディ骨格部品/バンパー部品他  
(WILDLANDER, Bz3x/bZ4X, 他) **中国**

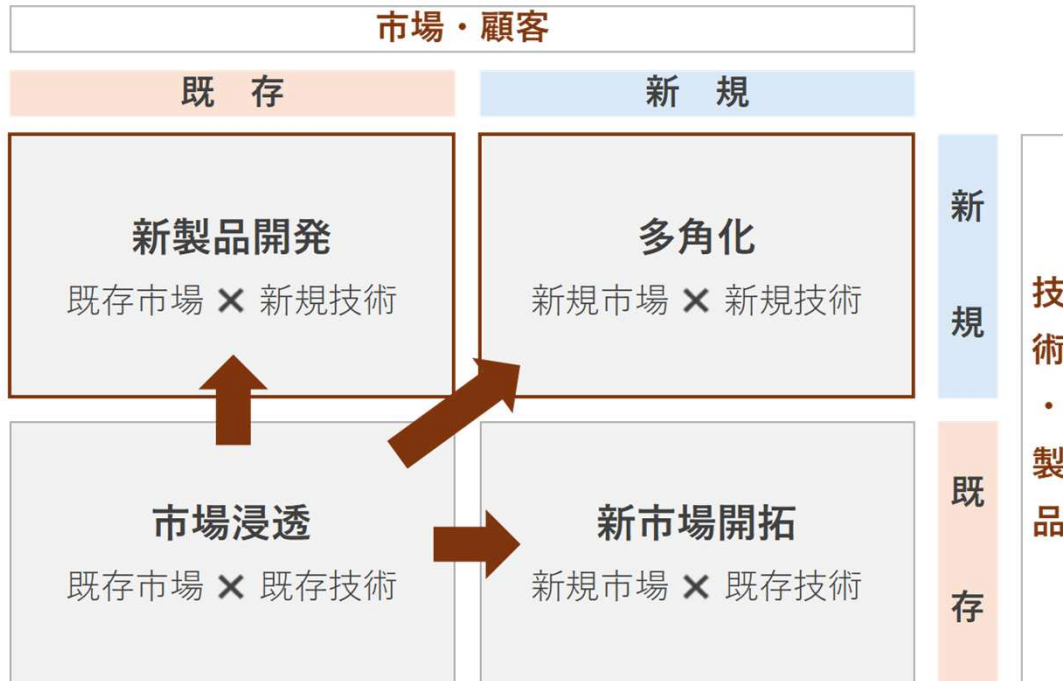


□トヨタ向け連結売上高 / 比率推移



自社の強みである**超ハイテン材**を使用した**ボディ骨格部品の成形技術**により、日本・中国において徐々に**トヨタ向けの部品受注が拡大**。特に日本においては**東プレ社との資本業務提携**をきっかけにトヨタ向けの部品量産を開始。以降は各社OEMが得意とする部品群にもミートする様**保有設備のPR**と**工程企画力**により、複数機種での受注が決定。トヨタ機種の受注拡大によりグローバルで更なる売上規模の拡大を目指す。

## ◆新事業の探索



## <推進テーマ>

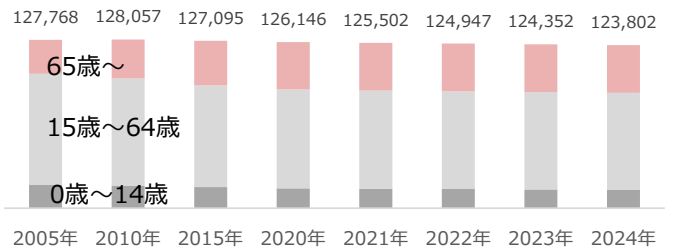
新製品開発	<b>既存市場のニーズに新しい技術で応える</b> ・客先ニーズに応える成形技術開発による低コスト・低ウエイトの実現
多角化	<b>次世代のコア技術</b> ・生産性、効率性、信頼性で培ったJ-MAXオリジナル生産技術の商品化 ・食料安全保障 ・農業の工業化(農業人口減の対応)

既存事業で培った技術やノウハウを活かし、  
新たな事業の研究開発を推進中

# 持続可能な社会の実現に向けた取り組みについて (第2号議案 定款の一部変更の件)

## <外部環境> 社会・地域からのニーズ

### ●人口推移 (2005年～2024年)



※総務省データからグラフ化  
※10月1日時点の人口推移

- 総人口減少傾向  
約3%減少
- 65歳以上増加傾向  
約40%増加
- 0～64歳減少傾向  
約12%減少

### ●「みんなの廃校」プロジェクト

※文部科学省ホームページより抜粋



少子化に伴う児童生徒数の減少等により、全国では毎年約450校程度の廃校施設が生じている。廃校施設は地方公共団体にとって貴重な財産であり、地域の実情やニーズを踏まえながら有効活用していくことが求められている。

文部科学省では、2010年に「～未来につなごう～みんなの廃校プロジェクト」を立ち上げ、廃校施設の活用を推進中。

### ●行政 (大垣市) からの提案

2024年4月から大垣市上石津地区の小中学校が統合再編されることに伴い、小学校の校舎活用を検討  
→地域活性化への貢献  
→雇用機会の提供

旧大垣市時小学校

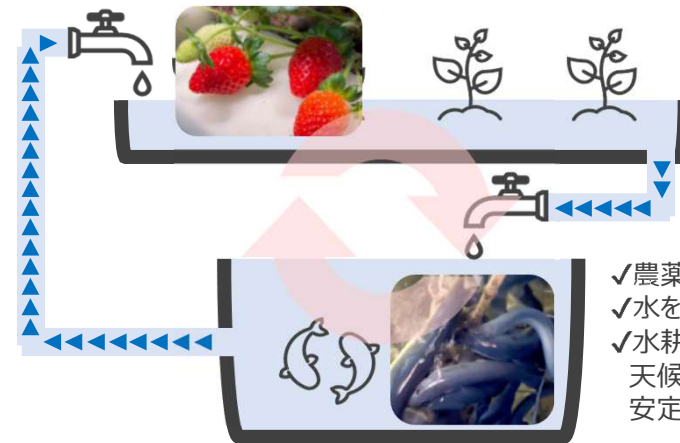


魚を育てると野菜が育つ。小さな生態系を再現。

## 循環型農業 (いちごとうなぎ)

実証  
実験中

### ●循環型農業 (アクアポニックス) の仕組み



- ✓農薬を使わない
- ✓水を捨てない
- ✓水耕栽培により天候に左右されない安定生産を実現

#### 地域貢献

雇用創出による  
地域経済の活性化  
特産品化による知名度向上

#### 環境・SDGs

循環型農業による  
環境負荷を大幅低減  
農業人口減少に対応

#### 食の安全

化学肥料不使用の  
安全・安心な食材提供  
による食料安全保障

循環型農業を通じて社会に貢献する

# 第69期業績予想

20/34

- 第69期は、電動化事業の確実な成長を見込んでいるものの、海外を中心とした主要客先の減産が更に進むことを想定。
- 利益については、継続的な原価低減の取組みを推進するとともに、付加価値の高い電動化事業の拡大により前期比増益を見込む。

(単位：百万円)

	第68期 実績	第69期 予想	増減額	増減率
売上高	51,919	50,000	▲1,919	▲3.7%
営業利益	1,858	2,400	+541	+29.1%
営業利益率(%)	(3.6%)	(4.8%)		
経常利益	1,140	1,600	+459	+40.2%
経常利益率(%)	(2.2%)	(3.2%)		
親会社株主に帰属する 当期純利益	891	1,000	+108	+12.2%
当期純利益率(%)	(1.7%)	(2.0%)		
一株利益(円)	77.66	87.14	+9.48	-

第69期

為替レート

タイヤーツ：4.20、人民元：20.00

第69期配当予想

年間8円（中間4円、期末4円）

以上を持ちまして当期の報告事項の  
ご報告を終了いたします。

# 決議事項

第1号議案	剰余金の処分の件
-------	----------

招集ご通知 5 ページをご覧ください

## 剰余金の処分の件

### 期末配当に関する事項

- (1) 配当財産の種類 **金銭**
- (2) 配当財産の割当てに関する事項およびその金額  
**当社普通株式 1株につき 金 3円**  
**総額 35,295,633円**
- (3) 剰余金の配当が効力を生じる日  
**2026年 6月29日**

# 決議事項

第2号議案

定款の一部変更の件

招集ご通知 6 ページをご覧ください

## 定款の一部変更の件

### 変更の理由

当社は、社会的ニーズの変化及び持続可能な社会の実現に向けた取り組みとしてアクアポニックス（魚の養殖と植物栽培を組み合わせた循環型農業システム）の開発に取り組んでおり、将来に向けた事業展開に備えるため事業の目的を追加するものです。

# 決議事項

第3号議案

**取締役（監査等委員である取締役を除く）  
4名の選任の件**

招集ご通知 7～12ページをご覧ください

## 取締役（監査等委員である取締役を除く）4名の選任の件

候補者番号	候補者氏名	現在の当社における地位・担当	取締役会出席状況
1	やまざき えいじ 山崎 英次	代表取締役社長執行役員 <input type="checkbox"/> 再任	13 / 14回 (92.9%)
2	いのくま あつとし 猪熊 篤俊	取締役専務執行役員 日本事業担当 タイ事業担当 <input type="checkbox"/> 再任	14 / 14回 (100%)
3	たなはしてつろう 棚橋 哲郎	取締役常務執行役員 中国事業担当 広州丸順汽車配件有限公司董事長 武漢丸順汽車配件有限公司董事長 福建丸順新能源汽车科技有限公司董事長 <input type="checkbox"/> 再任	11 / 11回 (100%)
4	まつうら こういちろう 松浦 孝一郎	取締役 <input type="checkbox"/> 再任	11 / 11回 (100%)

# 質疑応答

議長の指名後、質問席にご案内いたします。  
初めに「出席票番号」をお伝えいただいた上で、  
要点を簡潔にまとめて、ご質問ください。

ご質問については、一回につき1問までと  
させていただきたく、お願い申し上げます。

## 決議事項

<b>第1号議案</b>	<b>剰余金の処分の件</b>
<b>第2号議案</b>	<b>定款の一部変更の件</b>
<b>第3号議案</b>	<b>取締役（監査等委員である取締役を除く） 4名の選任の件</b>

## 第1号議案

# 剰余金の処分の件

## 第2号議案

# 定款の一部変更の件

## 第3号議案

**取締役（監査等委員である取締役を除く）  
4名の選任の件**

本日の総会の目的事項は  
すべて終了いたしましたので、  
本総会は閉会といたします。

本日は誠にありがとうございました。

**技術で夢を**

*—Make our dreams by technology—*

